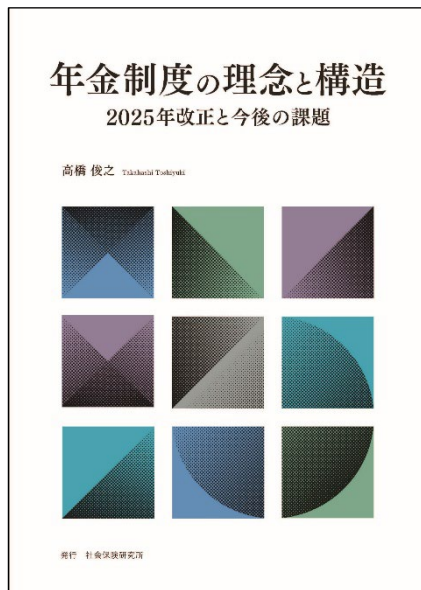


# 年金制度の理念と構造—2025年改正と今後の課題



著者 : 高橋俊之 (日本総合研究所 特任研究員)  
出版社名 : 社会保険研究所  
出版日 : 2025年12月20日  
価格等 : 2970円 (2700円+税) B5版400頁 本文2色刷り

年金制度は、社会経済や人口構造の変化に合わせて、改正を重ねてきました。少子高齢化が進む中でも、年齢区分を固定せずに見れば、平均余命の伸びに応じて、就労期間=拠出期間が伸びており、将来の年金水準の低下を避けることができます。

しかし、将来の低年金を防止するためには、被用者保険の更なる適用拡大、基礎年金の拠出期間の45年化、基礎年金と報酬比例部分の調整期間の一致など、対応が必要な課題があります。

本書では、図表を多く用いて、現行制度の仕組みや考え方、これまでの経緯を丁寧に説明した上で、今般の2025年の年金制度改正の内容と考え方について解説しました。そして、今後の課題について私見を交えて論じています。

本書は、2024年4月に刊行した「年金制度の理念と構造—より良い社会に向けた課題と将来像」を、2024年7月の財政検証と2025年6月に成立した年金制度改正法の内容を取り入れて、全面的に改訂した新版です。

## <目次>

### はじめに

- 第1章 公的年金制度の意義と役割
- 第2章 年金制度の仕組みと世帯類型
- 第3章 経済と年金
- 第4章 少子高齢化と年金
- 第5章 年金額改定の仕組みと考え方
- 第6章 財政検証と年金水準の将来見通し
- 第7章 基礎年金の拠出期間45年化の意義と論点
- 第8章 マクロ経済スライドの調整期間の一致の意義と論点
- 第9章 被用者保険の適用拡大
- 第10章 勤労者皆保険の実現に向けて
- 第11章 標準報酬月額と標準賞与額
- 第12章 繰下げ受給と在職老齢年金
- 第13章 遺族年金の仕組みと制度改正
- 第14章 障害年金の仕組みと課題
- 第15章 子に係る加算と配偶者の加給年金等
- 第16章 第3号被保険者制度と離婚時分割制度
- 第17章 国民年金保険料の免除と猶予
- 第18章 社会保障協定と脱退一時金
- 第19章 年金生活者支援給付金
- 第20章 年金と税制
- 第21章 年金積立金の運用
- 第22章 企業年金・個人年金
- 第23章 年金制度の抜本改革論と段階的改革論
- 第24章 年金実務の実施組織
- 資料1 年金制度改正等の経緯
- 資料2 2025年の年金制度改正による改正事項